

1 国語に関する調査

【特長】

- 文章の内容を把握し、その特徴について理解することができている。説明文の学習において、聞かれていることは何なのかを意識させる指導をしてきた成果と考えられる。
- わかりやすく簡略化して書き表すために、序論・本論・結論の構成メモ作りを繰り返し学習してきた。その結果、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する力が付いてきている。

【課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。新出漢字を使った短文作りを取り入れるなどして、定着を図りたい。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。資料をもとにテーマに関する問題点とその解決方法を整理するなどの学習活動を取り入れていきたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができている。日頃から資料を丁寧に読み取る学習を行った成果と考えられる。
- 一の位が0の二つの2位数について、十を単位としてとらえ積を求め、その100倍と考えて正しく計算することができている。朝の基礎基本習得の時間やモジュールの時間に繰り返し練習を積み重ねてきた成果と考えられる。

【課題】

- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。三角形の面積の意味と求め方を確認すると共に、色々な三角形において、高さや底辺がどこにあたるかを確認する活動を取り入れたい。
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することに課題がある。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 「いじめは、どんな理由があってもいけない」と答えている児童が多い。また、「人が困っているときには進んで助けている」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」と答えている児童が多い。引き続き良好な人間関係を育んでいきたい。
- タブレット端末などの ICT 機器を週 1 回以上授業の中で活用しており、その有用性を多くの児童が実感していることがうかがえる。今後も授業のあらゆる場面で、さらに活用を進めていきたい。

【課題】

- 授業以外で本を読む時間が1日10分以下の児童の割合が高く、学校や地域の図書館を利用する児童の割合が低い。学校生活の中で意図的に読書の時間を設定したり、学校図書館の利用を促す声かけをしたりすることで、本にふれる機会を増やす必要があると考える。
- 「地域や社会を良くするために何かしてみたい」と答えた児童は一定数いるが、地域の行事に進んで参加する児童が少ない状況である。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 授業のはじめに学習目標を示し最後にふり返りをしっかり行うことで、学習の定着を図る。さらに個別指導や興味・関心を高める教材の工夫を行うなどして、基礎的な知識の定着を図っていく。
- 書く力を伸ばすために、文章を書く学習や読書活動との関連を重視して指導していく。また、語句の役割やそれぞれの関係などの基礎的な内容を確認する学習を繰り返し行っていく。
- 各教科などにおいて、タブレット端末などの ICT 機器を有効に活用し、自分の考えや感想を互いに伝え合う活動を意識して授業に取り入れることで、話す力・聞く力を身に付けさせたい。
- 自分自身の良さに気づき、難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していけるよう、様々な教育活動の中で児童の言動の良いところを認め励ます声かけや関わりなどを増やしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 「国語や算数で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つ」と答えているお子さんが多いので、予習や復習などの家庭学習の習慣化ができるよう、ご家庭においても継続して指導をお願いします。
- 放課後や学校が休みの日にも読書ができるように、学校図書館で本を借りたり地域の図書館に行ったりするなど、ご家庭でも本にふれる機会が増えるような声かけをお願いします。
- お子さんと一緒に地域の行事やボランティア活動に参加するなどして、子どもたちが地域の一員としての意識をさらに高められるように、ご協力をお願いします。